



ひょうどう うきょう  
**兵藤 右京さん**

●佐野西中3年  
**笑顔の素敵な  
教師に**

私の夢、それは笑顔の素敵な小学校の教師になることです。

私がこの夢をもったのは、小学校で笑顔の素敵な先生にたくさん出会ったからです。私はその先生方のように、未来を生きていく子どもたちに、この世界のすばらしさ、人のすばらしさを教えらる先生になりたいと思います。そのためには私自身が、心が温かく、そばにいる人を笑顔にできる人間であることが必要です。優しく強い心をもった教師になれるよう、自分の信じた道を全力で歩んでいきたいと思っています。



**みんなの広場に  
出てみませんか？**

「すてきな仲間たち」「めおと人生」に登場していただける方を募集しています。自薦・他薦は問いません。  
※「すてきな仲間たち」「めおと人生」は隔月で掲載します

■問合せ 政策調整課広報広聴係  
☎(20)3037

**すてき仲間たち**



**戸室四文字会**

「四文字」とは、室町時代に生まれた連歌の詠法練習が起源といわれ、俳句や川柳と同じく17音字で、前句付、後句付、折句付などの制約のもと句を作るもので、江戸時代中期より田沼地区の方々に親しまれてきた文芸です。

戸室四文字会は、現在、市内で唯一活動している会で、年4回（1月、4月、7月、10月）句会を開き、四文字の伝承に努めています。

1月に行われた句会では、事前に課題に沿って作句された四文字を、会員それぞれが選者となって選び、選ばれた作句者には評点数に応じた景品が送られるなど、参加者一同「四文字」を楽しんでいます。

興味をお持ちになった方は、一度ご連絡ください。

- 活動時間 年4回  
(1月・4月・7月・10月)
- 活動場所 戸室町公民館
- 連絡先 毛塚宅 ☎(62)4793



**今回の表紙「市の花 カタクリ」(町谷町) 3月15日撮影**

町谷町の「万葉自然公園かたくりの里」でカタクリが咲きました。

カタクリは「佐野市の花」に指定されており、同園のカタクリは三轟山の北斜面の約1.5ヘクタールに広がり、約150万株が群生しています。

## 内藤 チイさん (村上町)

○プロフィール  
昭和3年生まれ  
(現在84歳)  
地元ボランティアの草分けとして活動され、  
現在「佐野ボランティア」の会長を務める。



### たんぽぽのように...

『踏まれてもめげず生きなん 黄の花にひかり集めて われはたんぽぽ』

内藤さんの詠まれた歌です。皆さんはこの歌からどのようなことを連想されますか。

内藤さんは、昭和36年、33歳のときに乳癌で右乳房の切除手術を受けました。2番目のお子さんが1歳3カ月のときです。その後の放射線治療で皮膚が焼けただれてしまい、生きる勇気を無くしてしまいました。そんな時、今は亡きご主人の「お前に先立たれて、置いていかれる家族はどうなる」の言葉が目覚め、4回に及ぶ皮膚移植に踏み切りました。手術は無事成功し、元気な体と心は取り戻すことができましたが、右手に麻痺が残ってしまいました。

そんな絶望のどん底にいたときにも、ご主人に「5回も手術をして救ってもらった命。世の中の役に立てなければ…」と励まされ、ヘルパーの草分けとして活躍されたことが福祉活動の原点になったようです。その後、独居老人への給食サービスを始め、地元にもボランティアを立ち上げ、子育てのお手伝いをされました。

昭和61年に民生委員を拝命されてからも、心配ごと相談員、田中正造旧宅



▲「平成9年10月 福祉まつり」  
(後列右から2番目)

解説ボランティアなどで活躍され、現在はボランティアの数は縮小しましたが、JA佐野が発行する「あぐりトピックス」の紙面にある『文芸ひろば』の選者として活躍されています。また今年1月には会長を務める佐野ボランティアの30数年にわたる障がい者施設での交流活動と協力に対し、両毛病院より感謝状をいただきました。

左手だけで鋏を持ち、収穫の喜びを味わう毎日だそうです。さやえんどうを摘むときだけ右手の不自由を感じてしまうそうです。

これからも内藤さんの温かいボランティアの心が、たんぽぽの綿毛のように広がることを期待したいです。

(市民記者 中里聖子)

## 市長からの

### メッセージ

市内の山々に霞がたなびき、桜花爛漫、春一色のよそおいとなりました。

先月の市議会において、平成25年度予算を承認いただきました。一般会計予算463億7千万円のほか、各特別会計・公営企業会計などです。

今年度予算の特色は、将来の佐野市を担う子どもたちを、生み、育てる環境を向上させるための「子育て環境の充実」、東日本大震災や笹子トンネル事故の教訓を踏まえた「市民の安全・安心の確保」、厳しい経済情勢を考慮した市内事業者への支援と企業立地の態勢を整える「産業の活性化」に、特に力を注ぐ内容としました。

また、郷土の偉人である田中正造翁の没後百年の節目にあたり、さまざまな顕彰事業を盛り込みました。これから12月まで市内各所で関連事業が行われます。市民の皆さんもふるってご参加くださるようお願いいたします。

今年度は総合計画「中期基本計画」の最終年度になりますので、これまでの進捗状況を検証し、本市がさらに発展していくための「後期基本計画」策定につなげていきます。

新庁舎の建設も始まり、消防庁舎、保育園など、大型建設事業も続くほか、産業団地造成・企業誘致も本格化しています。北関東の新たな核都市を実現するため、今後も市民の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。